

弓道いばらき

平成17年3月第27号

発行所 北相馬郡藤代町
毛有279-1
茨城県弓道連盟
理事長 久保田 清
電話 (0297-82-2738)

国体優勝おめでとう



上 段 祖父江恵美 女子監督 小泉民男 会長 柴田 猛 石井和子 石井 誠
下 段 池田秀臣 男子監督 川崎美香 小沼勝則 川瀬政人

第59回国民体育大会(秋季国体)

H 16・10・22〜28

★成年女子 遠的

〔日高市文化体育館〕

茨城初優勝(12射) 10月26日

茨城 82―73 石川

祖父江 17点

川崎 30点 29点濱野

石井 35点 23点山本

★成年男子 近的(2位)

〔日高市文化体育館弓道部〕

決勝(12射) 10月27日

東京 11―10 茨城

藤原 4中 3中 小沼

額政 3中 3中 石井

景山 4中 4中 池田

(東京は18年ぶり3度目の優勝)

茨城県弓道連盟

会長 柴田 猛

平成16年4月より関会長ご勇退に伴い、会長を仰せつかりました。会員各位のご協力をいただき、滞りなく行事を終えることができました。ここに紙面を借りて厚く御礼申し上げます。昨年度の県外大会を振り返ってみると、5月の京都大会錬士の部に於いて萩野谷選手が見事2位に入賞し、本県にと

つてさい先いよスタートとなった。7月には全日本弓道選手権関東出場決定大会で石井和子選手が錬士ながら関東の雄の中に於いて見事第2位で本戦出場を果たしたのは、本県の底辺の広さを知らしめたものであり賞賛される。8月には、第1回全国中学生大会で東海南中が第3位に入賞。また、11月に東京武道館で開催された全国青年大会では神栖町が第3位に入賞されたのがチームワークの結果であろうと思う。10月埼玉県日高市で開催された国民体育大会では3年連続3種別(少年女子・成年女子・成年男子)が出場。少年女子3年連続入賞が期待されたが速的・近的とも併致し予選通過はできなかった。年々力を付けてきている

成年男子が近的の第2位に入賞、成年女子が速的・速的の優勝の栄に輝いた。薄暮にふりかかる見えない中で、優勝は神栖町であったことが、勝力の女神を引き寄せたことができたのは、選手諸君の勝利への執念が実を結んだものと思う。この結果、総合第6位に入賞することができた。このことは、本県選手団一丸となって大会に臨んだ成果であった。平成16年度は全国第4位、あと一歩のところまで全国表彰を逃がす結果に終わったが、今年度は全国表彰の栄に輝くように会員各位のご活躍を期待したい。

平成17年度も重なる弓道発展のために努めてまいる所存です。皆様方のますますのご隆盛を祈念する次第です。今年の目標といたしましては昨年同様以下のように考えております。会員各位のご協力をお願いいたします。

- 1 指導者(称号受有者)は信頼を得るように努力して欲しい。
- 2 高段者は弓道発展に協力をお願いしたい。
- 3 競技力の向上に努めて欲しい。
- 4 弓道人の底辺拡大に努めて欲しい。

弓道教本の目的の一つに「弓道の修練が心身ともに、日常生活に活かせることを祈願している。弓道は体育や健康のためばかりでなく、人生をより高く、豊かにするものでなくてはならない。昔から射即生活とか、射即人生と言われたことを、忘れてはならない。弓道が教えてくれる謙や慎み、和敬、克己、反省等の徳目を、体得することが大切である。」「さら

に、弓道の要諦は、姿勢と礼節であることを強調したい。」と書かれているが、今一度原点に立ち返り、この目的を反芻する必要があるのではないかと思うこのごろである。

茨城県弓道連盟

副会長 理事長

久保田 清

平成十六年四月より、茨城県弓道連盟副会長、理事長の重職を仰せつかり、会員の皆様方のご協力により、一年が過ぎました。新しい年度を迎え、気持ちを新たに、して職務に望みたいと思っております。

思えば、弓道を始めてから四十四年間、長期にわたる弓道の事は、一年の活動だけ。これも過去職務につかれた先生方の、御苦労があつて、また人一倍迷惑をかけてきたことを、身に染みて感じている所です。

現在の茨弓連は、全国的に成績が上位に入っています。昨年は四位と、悲願の日本一に前進してお

ります。これも会員の皆様方の努力と精進の結果だと思います。今年度も、より一層の努力と精進を重ねて頂き、総合一位を目指して協力し合い、茨城県弓道連盟の為に頑張らしましょう。又、申込み、登録等のご協力宜しくお願いいたします。

茨城県弓道連盟 副会長

木村喜久雄

私の弓道の始まりは、28歳で入門した原研(東海)弓道部からである。技術系の職域においては、部活に関わることをしなければ、職域外の人との親密な交流はできず、弓の先輩から「弓引きの才能がある。」などと煽てにのせられたのが入部の発端であった。

お陰で、弓が媒体で友人が増え、道場に行くことが大きな楽しみであった。当時の道場は、週末には必ず土木作業が伴う空室道場であったので、週末には必ず10数名を全員が一堂に顔をあわせて作業をし、その後の茶話会の催しも楽しく、弓道部の連帯感を感じ、他の部に誇れるような部風がつけられた。

社会体育には、「稽古の時間とともにお茶のみ時間の充実」が大切であると言われていた。特に弓道は、個人的な練成種目であり、弓に賭ける想いは人それぞれに違うため、弓友相互の思いを理解するためにも、稽古後のティタイムにおける和やかな談笑の時間をもつように勤めたい。そして、弓道から離脱するようにみんなの気遣いが大切である。

以上のことに鑑み、大きく変わった支部は、発展に支部の分割を考へ、指導者は、所属部員を十分に把握し、指導者の徹底を期すことが支部の充実と、強いては、連盟の発展に寄与することになる。

昨年9月より延べ6回実施したC級スポーツ指導者講習会で、日本体育協会公認スポーツ指導者有資格者が多くの支部に誕生しており、大きな支部がいくつかの支部数に分離することは、支部の活性化に役立つことであり、当該指導者の活用にも有効に作用するのではなからうか。

弓道の振興について考えていただけたく、一石を投じた次第である。ご検討いただければ幸におも

茨城県弓道連盟 副会長

白石 直之

16年度副会長を務めさせていただきます。高体連弓道専門部長という立場からあつて職としての任務で

した。在任期間中は職務を全うできなかったとお詫び致します。日頃から、高校生の活動についてご指導ご支援を頂いていることに感謝申し上げます。高体連弓道専門部の活躍については別掲の活動の記録を参照したいと思っております。近年全国でも屈指の強県票としての地位を築いておりますことに関係各位に感謝申し上げます。

高体連弓道専門部が順調に活動しておりますが、さまざま問題も抱えております。まず指導者の問題です。顧問の弓道経験者が少なく、技術指導が徹底できなく、生徒たちは先輩の指導を受けてはいますが、自己流での練習になってしまいがちです。顧問に経験者がいない学校に対して県弓道連盟から称号者で指導や試合経験豊富な率先進範できる指導者の派遣を検討してみたいことも必要かと考えております。

第五九回国民体育大会

成年男子監督 川瀬 政人

原因になっていとも考えられます。手軽にそして仕事を終わらせてから夜間に練習できる施設が待望されるところで。

昨今、犯罪の低年齢化や青少年の規範意識の欠如などが言われてますが、心豊かになく、神の育成には、弓道の持つ教育的効果は大きなものがあります。そのため環境整備を進めることも私達の任務と思われまます。

次に練習場の問題です。学校に道場があるところは少なく、露店仮設や遠くの道場に通っての練習をしているところが少なくありません。学校施設の建設については困難なところと思われまます。市町村に弓道建設の促進を促す働きも必要かと思われまます。このことは、生徒たちが卒業後弓道を続ける確率が大変低くなっていること

埼玉県日高市で開催された第五九回大会は、成年女子の遠的「二位」成年男子の近的「二位」とすばらしい成績を挙げる事が出来ました。選手の実力はもちろんのこと、そのもてる力を充分引き出して下さった柴田先生のご指導のおかげと感謝申し上げます。

選手たち各々がブレッシヤーの重圧と戦い、本会場で一本差で勝ち進む一矢絶命の行射は手に汗を握る試合でした。特に池田選手は最年少でありながら落ちの重責を務め、初出場の小沼選手のブレッシヤーを和らげるべく適切なアドバイスをし、見事に近的予選皆中させ予選四七番道府県トップ成績で通過したことは、次に対戦する他

県選手に与える威力は大きかった。決勝トーナメントに入っても緊張の連続であり、見事決勝まで勝ち進んだ。決勝では惜しくも一本差で二位となったが、堂々の二位である。

反省として、遠的決勝トーナメント一回戦で対戦相手には的中数では勝っていたが、得点差で敗れたことが調子が良かっただけに悔やまれる。

今回この成績を発揮出来たのは、偏に柴田先生、成年女子、少年女子、遠路会場まで足を運んで応援してくださった皆様のお陰と感謝申し上げます。

また、今年の宿泊先は民泊という事もあり、宿泊先の家族総出で自分達の家族同様な暖かい応援を送って下さった事に大きな力となつて、好成績が出せたと思う。

選手の皆さんにお疲れ様でした。県弓連盟会員各位の暖かいご声援ありがとうございました。

対してのブレッシヤーより、こちらの方が大きいブレッシヤーだったかも知れません。

こういうブレッシヤーの中でこのたび県連盟より選手に任命された埼玉国体に出場機会を頂きました。時は八月も中頃、国体まで二ヶ月余りでした。会長、国体まで「終わったー!」ブレッシヤーから開放された率直な気持ちで心構えを頂き(半端なブレッシヤーじゃない国体は)と、同時にベテラン選手二名(石井さん、池田さん)に小沼をサポートしてやれと。しかし私は固りばかり、練習では的中の一潮れる者業にもすがの思いで正しい射法の習得に出稽古もしました。

成年男子 池田 秀臣

「やっと終わった!」試合終了後、最初に出た言葉がこの言葉でした。落ちという重責、本調子でないという自分への苛立ち。昨年一本も外していないという自分へのブレッシヤー、そんなものから解放された瞬間だったからです。これほどまでに自分を追い込んだ試合は今までになかったから。今となっては、自分自身への悔しきの残る試合ではありませんが、これからも続く弓道人生において、とても勉強になる経験ができたからです。「己に勝つ強い気持ち」これをさて持てば何とかなるという事を改めて教えられた今回の国体でした。

調子上がらずで、まな板に鯉の心無我夢中、ただ、今までの修練での弓手、妻手、背中、胸の中筋を一つづつの確認、結果、予選一位、これもみな私を指導してくれただすべての方のお陰です。

しかし今だけに予選の射が再現出来なく不甲斐ない私です。ありがとうございました。

成年男子 小沼 勝則

このたび県連盟より選手に任命された埼玉国体に出場機会を頂きました。時は八月も中頃、国体まで二ヶ月余りでした。会長、国体まで「終わったー!」ブレッシヤーから開放された率直な気持ちで心構えを頂き(半端なブレッシヤーじゃない国体は)と、同時にベテラン選手二名(石井さん、池田さん)に小沼をサポートしてやれと。しかし私は固りばかり、練習では的中の一潮れる者業にもすがの思いで正しい射法の習得に出稽古もしました。

成年男子 石井 誠

国体へ出場する度に、過去九回出場した時の悪い思い出が、常に頭の中で駆け回る。毎年、「去年より上に行きたい。」「自分なりに完成度が向上した射で国体に望みたい。」等。本国体に

成年女子 監督 小泉 民男

第五九回国体が埼玉県日高市において一〇月二三日から一〇月二七日の日程で開催され、昨年の静岡国体に引き続き入賞を果たし、遠的優勝、女子総合六位、男女総

第五九回国体が埼玉県日高市において一〇月二三日から一〇月二七日の日程で開催され、昨年の静岡国体に引き続き入賞を果たし、遠的優勝、女子総合六位、男女総

合六位という結果を出せたことは選手たちの努力もさることながら柴田会長はもとより弓道連盟会員各位、成年男子、少年女子の後押しがあり達成できたものであると感謝申し上げます。

団体は、各地区のブロック予選を勝ち抜いた成年女子一六チーム、少年男女四〇チームそして成年男子四七チームにより各種別において近的、遠的の種目別及び女子総合、男女総合の入賞を目指し各県の精鋭が競い合う大会であり、技量の大きな差はなく気力、集中力の戦いでした。

成年女子が団体に出場する為には、関東ブロック予選を通過することが条件であります。ブロック大会は、遠的、近的の総合成績により順位を決定するため、何れか一位であったも、他方を失却すれば代表権を得る事が困難な試合形式であり、関東枠三チームの代表権を得るため、選手には各自の道場での修練は勿論、強化練習として土日を中心に遠征を含め、二〇回以上の強化練習によく応え、昨年に引き続き総合一位の成績で出場権を獲得しました。

団体の成年女子の近的競技日程は、若干変更的であり初日二射、二日目二射、計四射で予選が行われ、初日が良くも、悪くも二

日目の調整が非常に難しい試合形式となっており、監督の不意から惜しくも予選通過できなかったが、三日目の遠的予選では、本来の実力を発揮し昨年より速く決勝トーナメントへ駒を進めた。

決勝進出の顔ぶれは、昨年と大差なく茨城、熊本、鹿児島等々のチームが勝ち上がつても不思議ではなく、選手達には気力と集中力の勝負である旨を伝えトーナメント戦に挑み、二回戦を僅差で勝ちあがった時点で優勝を予感した。

決勝戦は、日没そして雨のため視界が悪く矢の着地点はおろか、遠的表示板も見えないような状態での試合であり、選手達は自分への自信最後まで集中力の切れることなく素晴らしい試合を演じてくれたことに感謝を申し上げます。

戦場、家庭、子育てで等々、多くの仕事を抱えながらの初優勝本当に苦勞様でした。また、今団体は関東地域での開催であり遠的射場審判員である柴田会長の目前で優勝できたことは、違つた意味での感激を味わった団体でした。

成年女子 川崎 美香

団体五度目の出場にて、夢であった頂点に立つことができました。予選から準決勝まで、不安と緊張でいっぱいでしたが、決勝は何故か落ち着いてできたことが、今となっては不思議に思っています。貴重な体験ができました。ありがとうございました。

成年女子 石井 和子

彩の国まごころ団体において、沢山の人々に支えられ、苦しい中結果を出せた団体でした。何となく通過することが出来た関東ブロックから、不安を抱えたままの本団体、柴田先生をはじめ、監督・チームメイト・茨城県選手一丸となって乗り切ることが出来ました。待つていてくれる家族にも、良い報告をすることが出来、思いで多い大会となりました。

成年女子 祖父江 恵美

「初優勝」この言葉は、私にとつて忘れられない嬉しい思い出になる事でしょう。多くの方々に

<p>平成16年度 県連の主な大会成績</p> <p>全日本勤労者弓道 選手権大会県予選会</p> <p>H16・4・25</p> <p>▼団体の部</p> <p>一位 日製A</p> <p>二位 日製B</p> <p>石井 誠</p> <p>竹之内順子、川崎 美香</p> <p>▼個人の部</p> <p>一位 森賢裕人 日製B</p> <p>二位 川崎美香 日製B</p> <p>三位 泉 正安 日製A</p> <p>森賢 裕人</p>		<p>▼称号登有者の部</p> <p>一位 高橋祥子 三和</p> <p>二位 張登謙 三和</p> <p>三位 米山良美 下館</p> <p>▼優秀賞 団体の部</p> <p>一位 勝田C 八木秀人、鹿志村伸子、中井由美枝子</p> <p>二位 茨大A 新山晃一、矢野大輔</p> <p>三位 千代田B 磯山博生、富田由美、友部那美</p> <p>三位 玉造A 佐藤至幸、齊藤勝美、高野敬光</p>
<p>▼個人の部</p> <p>一位 齊藤芳美、増田誠也</p> <p>二位 下館E 横須賀資裕</p> <p>飯泉 清、鶴見富雄</p> <p>三位 玉造A 佐藤至幸、齊藤勝美</p> <p>高野敬光</p> <p>▼個人男子の部</p> <p>一位 鈴木正太郎 下館E</p> <p>二位 横須賀章裕 茨大D</p> <p>三位 佐山秀夫 三和</p> <p>▼個人女子の部</p> <p>一位 富田由美 千代田B</p> <p>二位 栗根涼子 友部A</p> <p>三位 浜野悦子 下館C</p>	<p>▼三段以下の部</p> <p>一位 梅津里香 神栖</p> <p>二位 美濃智明 藤代</p> <p>三位 齊藤利幸 神栖</p> <p>▼四段・五段の部</p> <p>一位 川崎美香 湊</p> <p>二位 池田秀臣 千代田市</p> <p>三位 山崎芳美 取手市</p> <p>★優秀賞</p> <p>木村嘉隆 取手 五段</p> <p>菊池俊和 藤代 四段</p>	
<p>▼団体の部</p> <p>H16・4・25</p> <p>▼個人の部</p> <p>一位 川崎美香 日製B</p> <p>二位 泉 正安 日製A</p> <p>森賢 裕人</p>	<p>▼個人男子の部</p> <p>一位 鈴木正太郎 下館E</p> <p>二位 横須賀章裕 茨大D</p> <p>三位 佐山秀夫 三和</p> <p>▼個人女子の部</p> <p>一位 富田由美 千代田B</p> <p>二位 栗根涼子 友部A</p> <p>三位 浜野悦子 下館C</p>	

選手権大会(称号者の部)

- H16・6・6
 - 一位 清水 匡 土浦亀城
 - 二位 石井和子 湊
 - 三位 明間 勲 取手市
- 森 昭夫 石岡市

県民総体(兼)国体選手選考会

H16・6・13

▼男子の部

- 成年三段以下の部
 - 一位 高濑 智明 藤代市
 - 二位 美居 晃 高萩市
 - 三位 中野 了治 筑波大
- 成年四段以上の部
 - 一位 池田 秀臣 千代田町
 - 二位 齊藤 勝美 玉造町
 - 三位 杉山 義光 航自百里

▼女子の部

- 成年三段以下の部
 - 一位 芦田 侑果 千代田町
 - 二位 村田さくら つくば市
 - 三位 島 満栄 日立市
- 成年四段以上の部
 - 一位 黒澤 智子 三菱化学
 - 二位 尾科 恵子 石岡市
 - 三位 黒澤 恵子 石岡市

称号受有者の部

- 一位 福地 平 サイクル機構
- 二位 萩沼 信子 殿山弓道
- 三位 助川 末廣 土浦市

遠的大会(兼)

全日本遠的選手権予選

- ★一般男子の部
 - 一位 清水 博 勝田
 - 二位 鈴木正太郎 下館市
 - 三位 山崎 芳美 取手市
- ★一般女子の部
 - 一位 梅津 里香 神栖町

第28回中野林記念弓道大会

H16・9・19

★一般男子の部

- 一位 清水 博 勝田
- 二位 鈴木正太郎 下館市
- 三位 山崎 芳美 取手市

★一般女子の部

- 一位 梅津 里香 神栖町

H16・6・27

▼男子の部

- 一位 石井 誠 湊
- 二位 福水 弘 藤代町
- 三位 菊地 俊和 藤代町

▼女子の部

- 一位 芦田 侑果 千代田町
- 二位 荻野谷綾子 水戸市
- 三位 石井 和子 湊

関東教職員弓道大会

H16・7・4

- 県勢のみの成績
 - 男子個人 四位 長島利行
 - 男子団体 二位 吉沢・立川・張
 - 女子個人 一位 五十野久恵
 - 女子個人 三位 飯島和美

青年大会「青年協」

H16・8・22

- 一位 鹿島部 梶 直子、梅津里香、藤代知恵子
- 二位 下館市 福見真人、若下智明、野沢しのぶ
- 三位 稲敷部 西尾庄一、男澤幸子、宮本建一

二位 川崎 美香 湊

★称号受有者の部

- 一位 吉田 智 石岡市
- 二位 森 昭夫 石岡市
- 三位 宮崎 康美 茨大教員

段位別大会

H16・10・24

★二段以下の部

- 一位 村山 邦彦 霞ヶ浦町
- 二位 清水 博 勝田
- 三位 芦田 侑果 千代田町

★三段の部

- 一位 矢野 大輔 藤代町
- 二位 山口 皓司 友部町
- 三位 梅津 里香 神栖町

★四段の部

- 一位 関口 信夫 取手市
- 二位 正根寺 洋 下館市
- 三位 菊地 俊和 藤代町

★五段の部

- 一位 高野 敬光 玉造町
- 二位 緑川 慎二 高萩市
- 三位 斎藤ミユキ 土浦市

★称号受有者の部

- 一位 小島 敏和 水戸市
- 二位 柴原一利子 水戸市
- 三位 福水 弘 藤代町

▼二段以下の部

- 一位 芦田 侑果 千代田町
- 三位 波崎 昭 諸橋

★三段の部

- 山口 皓司 友部町

★四段の部

久本 寛子 太田弓弓会

★五段の部

- 山崎 芳美 取手市

武道フェスティバル

H16・11・14

★男子の部

- 一位 飯岡 安了 茨城町
- 二位 菊地 俊和 藤代町
- 三位 山崎 芳美 取手市

★女子の部

- 一位 西野 弥生 湊
- 二位 山田 浩子 藤代町
- 三位 照井 ひさ 水戸市

★称号受有者の部

- 一位 石井 誠 湊
- 二位 小沼 勝則 波崎町
- 三位 福水 弘 藤代町

支部対抗戦

H16・11・21

- 一位 湊A 平戸 信行、石井 誠
- 二位 石井 和子
- 二位 藤代A 菊地 俊和、美濃 智明
- 三位 藤田A 福水 弘
- 三位 中井川一郎 博
- 三位 波崎 昭

新春射会

H17・1・23

★三段以下の部

- 梅津 里香 神栖町

★四・五段の部

- 越川 春江 神栖町

★称号受有者の部

- 大峰 芳樹 取手市
- ★総合優勝 大峰 芳樹 取手市

平成16年度 県内大会成績

H16・4/4

村松山弓道大会

- ▼団体の部
 - 一位 日製A 泉正 安、郡司武濱
 - 二位 日製B 石井 誠
- ▼個人の部
 - 竹之内順子、川崎美香、森實裕人
 - 一位 日製B 森實裕人
 - 二位 日製B 川崎美香
 - 三位 日製A 泉 正安

土浦さくら祭(兼) 田原範士祝寿弓道大会

H16・4/3/4

▼中学の部

- 一位 大崎 健太 竹来
- 二位 木村 恵 竹来
- 三位 安部 瑞穂 竹来

- ▼高校男子の部
 - 一位 庄司勇輝 取手一
 - 二位 青木 聡 石岡二
 - 三位 佐藤淳一 土浦三
- ▼高校女子の部
 - 一位 谷口陽子 牛久
 - 二位 高橋里衣 龍ヶ崎一
 - 三位 桑名 明水 水戸二
- ▼一般の部
 - 一位 柴田 猛 教育庁
 - 二位 矢野智之 土浦
 - 三位 石井 誠 ひたちなか湊
- ★高校男子 団体優勝
 - 石岡第二A
- ★高校女子 団体優勝
 - 龍ヶ崎第一C
- ★一般 射撃賞
 - 小武内弘子 神栖
- ★一般団体
 - 一位 ひたちなか湊B
 - 二位 水戸B
 - 三位 日製日立

- 第81回茨城県実業弓道大会
H 16・5/11
場所：茨城県式道館弓道場
- ▼団体の部（リーグ戦による）
一位 日製製作所A
- ▼高校男子の部
 - 一位 正宏、郡司武演、石井 誠
 - 二位 三菱化学B
 - 三位 野野裕司、黒澤智子、栗原学次
- ▼高校女子の部
 - 一位 宮本真光、諸橋 昭、川瀬政人
 - 三位 三菱化学A
- ▼一般の部
 - 一位 岩見谷 義、石岡商業
 - 二位 嶋田和希、石岡商業
 - 三位 岩見谷 義、石岡商業
 - 射撃優勝 岩見谷 義、石岡商業
 - 射込二位 岩見谷 義、石岡商業
 - 射込三位 友常淳美、石岡一高
 - 団体優勝 石岡商業
 - 嶋田和希、美留町俊
- ▼鹿島神宮弓道大会
H 16・4/29
- ▼高校の部
 - 射撃優勝 岩見谷 義、石岡商業
 - 射込優勝 嶋田和希、石岡商業
 - 射込二位 岩見谷 義、石岡商業
 - 射込三位 友常淳美、石岡一高
 - 団体優勝 石岡商業
 - 嶋田和希、美留町俊
- ▼一般の部
 - 射撃優勝 矢野大輔、藤代支部
 - 射込優勝 中野了治、筑波大
 - 射込二位 矢野大輔、藤代支部
 - 射込三位 梅津里香、神栖支部
 - 団体優勝 藤代Aチーム
 - 菊池俊和、矢野大輔、美濃智明
 - 飯島トヨ 取手支部
- ▼特別賞
飯島トヨ 取手支部
- ▼年輪ピック予選会
H 16・5/14
- 一位 堀江文彦 大子
二位 根本信哉 日製日立
三位 渡辺尊二
- ひたちなか市勝田

- 神栖町弓道連盟発足30周年記念大会兼第25回神栖町弓道大会
H 16・5/16
- ▼高校の部
 - 射撃優勝 宮本一樹 土浦工業
 - 射込優勝 多辺田朱美 鏡子西高
 - 射込二位 有我光平 土浦工業
 - 射込三位 尾吹将大 石岡一高
 - 団体優勝 大川雅人 鉾田一高
 - 射込第一高B
 - 小澤勇人、大川雅人、塙 典吾
- ▼一般の部
 - 射撃優勝 荻野淑江 神栖町
 - 射込優勝 信人修一
 - 射込二位 土浦工業OB
 - 射込三位 橋本真次郎 佐原市
 - 射込四位 佐藤三男 鹿嶋市
 - 射込五位 川崎伸太郎 津市
 - 射込三位 三菱化学B
 - 石岡 昭
 - 磯川 昭
 - 飯田泰典、吉藤裕亮、尾吹将大、岡野加枝八郷高校
- ▼一般の部
 - 射撃優勝 美濃智明 藤代支部
 - 射込優勝 白井秀利 友部町支部
 - 射込二位 正宏 日立市支部
 - 射込三位 矢野大輔 藤代支部
 - 射込四位 藤代支部
 - 美濃智明、矢野大輔、菊池俊和
 - 美濃智明 藤代支部
- ▼花の賞
尾吹将大
- ▼花の賞
美濃智明、藤代支部

- 第53回水郷潮来あやめ祭協賛弓道大会
H 16・6/20
- ▼高校の部
 - 射撃優勝 勝沼法朗 常総学園
 - 射込優勝 野野裕亮 石岡一高
 - 射込二位 内藤智美 潮来高校
 - 射込三位 櫻井俊介 常総学園
- ▼個人の部(男子)
 - 一位 三菱化学 諸橋 昭
 - 二位 三菱化学 川瀬政人
 - 三位 日製日立 郡司武演
- ▼個人の部(女子)
 - 一位 三菱化学 黒澤智子
 - 二位 三菱化学 五十嵐みどり
 - 三位 日製日立 川崎美香
- ▼吉田金太郎杯
最多得点賞 三菱化学 諸橋 昭
- 第159回東北弓道振興大会
H 16・7/11
- 場所：日製日立武道場
- ▼入賞 団体の部
 - 一位 日立市支部A
 - 二位 大岡 正一、鳥 満栄
 - 三位 高萩市支部C
- ▼個人の部
 - 一位 日立市支部A
 - 二位 森實 裕人
 - 三位 安嶋 祐加里、石 早紀、吉田 勇介
 - 四位 高萩市支部A
 - 五位 明村 範徳、鈴木 章記、鈴木 慎也

- 第160回東北弓道振興大会
H 16・10/31
- 場所：日製日立武道場
- ▼入賞 団体の部
 - 一位 日立市支部D
 - 二位 大岡 正一、鳥 満栄、森實裕人
 - 三位 高萩市支部B
- ▼個人の部
 - 一位 日立市支部D
 - 二位 高田一也、和田あずさ、羽田 晴美
 - 三位 茨城大学支部A
- ▼個人の部
 - 一位 日製日立支部 郡司 武演
 - 二位 日製日立支部 根本 信哉
 - 三位 高萩市支部 吉田 勇介
- ▼個人の部
 - 一位 日立市支部A
 - 二位 大岡 正一、鳥 満栄、森實 裕人
 - 三位 日立電線支部 村山 久行
- ▼女子大会
H 16・9/25
- 射撃優秀 和田 昭子 神栖支部
- ▼団体の部
 - 一位 下館
 - 二位 神栖B
 - 三位 神栖A 水戸
- ▼個人の部
 - 一位 和田 昭子 神栖支部
 - 二位 小武内弘子 神栖
 - 三位 村越 紀久大洗

★優秀賞
団体 日立市支部 D

▽個人ノ部
増田誠也
一位 日立市支部 大岡正一
二位 高萩市支部 安嶋祐加里
三位 日立市支部 森實哲人

▽一般ノ部
一位 立原有夏 清真学園
二位 中山秀明 石岡商D
三位 岩見谷藍 石岡商E

▽射込
一位 立原有夏 清真学園
二位 中山秀明 石岡商D
三位 岩見谷藍 石岡商E

麻生大会

H16・11/3
▽高校ノ部
石岡商業E
大高 綾、岩見谷藍、
仲村美香
射話優勝 関 広行 石岡商業B
射話優勝 庄司勇輝 取手 D
金的 美留町俊 石岡商D

個人 日立商業高校五十嵐夏美
森實哲人
島 潤栄
大 満正一

射話優勝 高野敬光
射話優勝 湯川源子 筑波大
金的 吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

第82回茨城県実業団弓道大会

H16・11/28
場 所：日本原子力研究所弓道場
▽団体の部 (リーグ戦による)
一位 日本原子力研究所 C
一位 番越忠三、山口恭弘、
小泉民男
二位 日立製作所 A
泉 正宏、郡司武満、
石井 誠
三位 日立電線 B
川野辺道男、吉田 均、
山田久行

▽個人の部 (男子)
一位 日立電線 川野辺道男
二位 三菱化学 大瀬良健蔵
三位 日立電線 村山久行
▽個人の部 (女子)
一位 三菱化学 黒澤智子
二位 三菱化学 竹之内順子
三位 日製日立 後藤美樹
吉田金太郎杯 最多得点賞
日立電線 川野辺道男

射込
一位 木村孝行 千代田
二位 湯川源子 筑波大
三位 高野敬光 玉造

三位 今泉重弘 土浦日大高
▽高校女子ノ部
一位 竹村裕子 石岡商
二位 蛸原惇子 守谷
三位 渡邊るみな
江戸川学園取手
▽一般三段以下ノ部
一位 古田土百合子 土浦電城
二位 齊藤利章 神栖
三位 辻 尚弘 土浦電城
▽一般四段以上ノ部
一位 内山 覚 土浦
二位 菊地俊和 藤代
三位 塩崎裕治 取手

射込
一位 立原有夏 清真学園
二位 中山秀明 石岡商D
三位 岩見谷藍 石岡商E

射話優勝 高野敬光
射話優勝 湯川源子 筑波大
金的 吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

第24回県西弓道大会

H17・1/9
▽高校団体の部
優勝 下妻一高 H
二位 地高 A
三位 石岡一高 C
▽高校個人の部 男子
一位 関 陽平 地高
二位 松井宏友 下妻一
三位 櫻井俊介 常総
▽高校個人の部 女子
一位 和佐原未希 石岡一
二位 倉持優 八千代
三位 飯島みゆき 下館二
技能優秀
高校団体 境 高 A
高校男子 幕内瑠基 土浦工業
高校女子 東 幹子 石岡一

射話優勝 高野敬光
射話優勝 湯川源子 筑波大
金的 吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

女子部新春射会

H17・2/26
射話賞 萩沼信子
射射
一位 市毛遥子
二位 越川春江
三位 佐野陽子
余興的
一位 萩野渡江
二位 萩野谷綾子
三位 萩沼信子

射話優勝 高野敬光
射話優勝 湯川源子 筑波大
金的 吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

三位 清水 博 勝田市
▽一般女子ノ部
一位 広瀬くに子 宇都宮市
二位 萩野谷綾子 水戸市
三位 根本鈴子 勝田市

第15回山の弓道大会

H17・3/27
[射話の部・高校]
豊田 大樹 (土浦工)
[射話の部・一般]
辻 尚宏 (亀城支部)
[射話特定点の部・高校]
廣嶋 裕介 (土浦工)
[射話特定点の部・一般]
大瀬良健蔵 (神栖支部)
[高校代表対抗戦]
土浦一
[花ふぶき金的]
赤嶺 幸子 (取手支部)

射話優勝 高野敬光
射話優勝 湯川源子 筑波大
金的 吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

平成16年度 県外大会成績

第55回全日本弓道大会
H16・5/2~3
▽鎌士の部
二位 萩野谷綾子 (水戸支部)

射話優勝 高野敬光
射話優勝 湯川源子 筑波大
金的 吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

射話優勝 佐藤至学、藤田君子、
高野敬光
湯川源子 筑波大
吉田忠晃 竜ヶ崎D
小沼勝則 波崎

JOCジュニアオリンピックカップ第1回全国中学生弓道大会

H16・8/16~18

▽団体競技の部
▽男子の部
三位 東海村立東海南中学校

第59回国民体育大会(秋季国体)

H16・10/22~28

▽成年女子 遠的
【日高市文化体育館特設遠的弓道場】
決勝(12射) 10月26日
茨城 82 | 73石川
祖父江 17点 21点中野
川崎 30点 29点濱田
石井 35点 23点山本
(茨城は初優勝)

▽成年男子 近的

【日高市文化体育館弓道場】
決勝(12射) 10月27日
東京 11 | 10茨城

藤原 4中 3中小沼
額政 3中 3中石井
景山 4中 4中池田

(東京は18年ぶり3度目の優勝)

明治神宮奉納全国弓道大会

H16・11/3

▽称号受有者の部
2位 栗崎武志 (土浦亀城)

▽有段者の部
7位 後藤裕一 (土浦亀城)

平成16年度 中体連大会成績

茨城県中学校総体弓道競技

H16・7/26

▽男子団体
優勝 東海南中
二位 竹来中
三位 愛宕中

▽男子個人
優勝 戸田 崇 水戸二中
二位 住谷智洋 東海南中
三位 大崎健太 竹来中

▽女子団体
優勝 竹来中
二位 阿見中
三位 城ノ内中

▽女子個人
優勝 福井友美 東海南中
二位 小松光恵 阿見中
三位 川村彩佳 竹来中

中野林優勝旗争奪弓道大会

H16・8/2

▽男子団体
優勝 内原
准優勝 竹来
三位 愛宕

▽女子団体
優勝 東海
准優勝 阿見
三位 清真学園

三位 東海南

▽男子個人

優勝 戸田 崇 水戸二
準優勝 倉田大資 竹来
三位 柴沼 肇 土浦一

▽女子個人
優勝 木下絵美 清真学園
準優勝 谷下聡美 内原
三位 大森園子 水戸二

第18回郡城弓まつり全国弓道大会

H17・3/26

▽中学生団体の部
優勝 清真学園中
小嶋美沙 原 味里
木下絵美

平成16年度 高体連大会成績

高校競技大会関東大会県予選会
H16・5/8

●【男子の部】
▽団体の部
一位 下妻一 B
二位 つくば工科 A
三位 水戸一 B

▽個人の部
一位 瑞 典哲 鉢田一
二位 久保和太郎 つくば工科
三位 倉持匠 つくば工科

★関東高等弓道大会出場権獲得校
一位 下妻一
二位 つくば工科
三位 水戸一
四位 水城

●【女子の部】
▽団体の部
一位 水戸一 B
二位 石岡商
三位 下妻一 A

▽個人の部
一位 林田美紗 水戸一
二位 佐藤瑞穂 竜ヶ崎一
三位 浜岡真由 水戸一

★関東高等弓道大会出場権獲得校

一位 水戸一
二位 石岡商
三位 下妻一
四位 水城

総体・全国県予選

H16・6/18~20

●【男子の部】
▽団体の部
一位 下妻一
二位 石岡商
三位 水城

▽個人の部
一位 吉田勇介 高萩
二位 久保和太郎 つくば工科
三位 上野雄也 下妻一

★全国大会出場校

下妻一
★全国大会出場者
吉田勇介 (高萩)

●【女子の部】
▽団体の部
一位 水戸一

二位 高萩
三位 水戸二

▽個人の部
一位 友常淳美 石岡一
二位 井野場望 石岡商
三位 竹村裕子 石岡商

★全国大会出場校
水戸一

★全国大会出場者

友常淳美 (石岡一)
井野場望 (石岡商)

茨城県高等学校弓道個人選手権大会
兼関東高等学校弓道個人選手権大会
茨城県予選
H16・8/20

▽男子の部 1年生の部
一位 高橋 義史 竜ヶ崎一
二位 桑名 一也 水城
三位 桑名 佑生 水戸一

▽総合の部
▽関東個人選手権出場権獲得者
一位 小松 寛己 石岡商
二位 横田 飛鳥 竜ヶ崎一
三位 渡邊 飛鳥 下妻一

▽女子の部 1年生の部
一位 遠藤桂奈子 竜ヶ崎二
二位 上野愛美 水戸一
三位 栗原 望 水戸二

▽総合の部

▽関東個人選手権出場権獲得者
一位 水野希美 高萩
二位 石 早紀 高萩
三位 大場友利加 藤代

茨城県高等学校弓道秋季大会
兼第28回中野優勝旗記念弓道大会
H16・10/2

●男子の部

▼団体の部

一位 水海道第一

二位 内館雄平

古橋純平

土浦工業

三位 幕内雄基、廣嶋裕介

豊田大樹

磯原

今泉大和、鈴木英一、

近藤直樹

▼個人の部

一位 近藤直樹 磯原

二位 岡 広行 石岡商業

三位 大塚翔平 佐和

●女子の部

▼団体の部

一位 竹園

廣瀬怜那、中島裕佳子、

向山静華

二位 日立商業

五十嵐夏美

久下管理未

三位 茨城東

新妻美穂、横田朝美、

川澄由香里

▼個人の部

一位 大高 綾 石岡商業

二位 中久喜美紀 境

三位 岡 志織 八千代

柴田 猛 範士八段 (茨城県弓道連盟、会長) の
個人弓道場完成

道場落成式を行う

・長い間の夢実現・

平成十六年十二月十二日、茨城県弓道連盟会長である、柴田猛範士八段の長年の夢である弓道場がこのたび完成し、落成式が執り行われました。

道場の名称は「存心館」と披露されました。

名付け親は、柴田先生と親交の深い中村洋一先生で、現在は県弓道の相談役をお願いしてありますが、長く教育界で仕事をなされ、県教育委員会教育次長、県立高校校長、常陸太田市教育長などを歴任された方です。

出典は水戸藩の殿様であった烈公(徳川斉昭様)の手になる「偕楽園記」の中からとり、存心は、本心を失わないこと。本心を保持して失わず、生まれながらにして持っている善な性を養い育てる、自己の心を省察して善性を養う、という意味をあらわすということ

です。

当日の参加者は、約百人

に先立って、小川町水戸近隣にある「小川太鼓クラブ」総勢二十人からなる勇ましい和太鼓の演奏がありました。当日は、暖冬が

個人弓道場完成

一転して本格的な冬の気候で、気温も十度以下、正午前から爽やかな雨が降るという天候の中、朝巻き姿で素肌を出したままの熱気溢れる演奏には、参加者も一様に惹きつけられていました。

式は水戸八幡宮の宮司による、開所宣誓ののち関宗長、県弓道連盟会長、中村洋一、県弓道相談役、岡田宏、参議院議員の祝辞をいただきました。

「鑑目の儀」

県連役員のうち高段者の方々による矢渡し礼射、二つの礼射、繰り立ち礼射ののち、参加者全員による一手礼射を行いました。

一手礼射は競技会を兼ね、同中者による射詰めを行い、上位者が表彰されました。

上位者は次のとおりです。

☆男子の部

一位 松崎修良、二位 助川末廣

三位 町田健彦、四位 庄司幸夫

五位 平戸信行

☆女子の部

一位 石井和子、二位 友部那美

三位 磯山博生、四位 天 芽子

五位 飯島和美

三位までの上位者には、賞品の盾に加えて、全文柴田先生の心を込めた直筆からなる賞状と色紙が贈られました。

最後の締めくくりとして

柴田館長による答礼射および謝辞をもって、落成式が滞りなく終了できました。

悪天候にもかかわらず、祝賀の熱気に溢れた式典になりました。

建物は、約五十坪そのうち射場部分が間口六間奥行四間半という、個人の道場としては、かなり大ききの規模です。

柴田先生の当初の胸算用では射場間口三間程度であったそうですが、周りの人たちからの要望を耳にしているうち、思いもかけない大ききになってしまったということ

です。控え室部分も六間×一五間という広さがあり、講習会や大会開催が可能であります。

先生の話では、最終的に「三人の二つの礼射」がゆとりを持って行える広さを想定したことになったとのことでもあります。

道場の場所は、柴田先生の御自宅から車で十分程度離れた、水戸市郊外になりますが、道場の周りは人家

も少なく、茨城県の特色である広い平坦な地形の中にありますので、500M四方は見通せるようなところ。冬は、近くの狐場から時折銃声が聞こえてまいります。

使用に当たっては、特定の会員制は採用せず広く弓に親しむ人たちの修業のために供したいということ。す。

県内外を問わず、稽古の場として、また、館長の指導を求め来館されることをお勧めします

文責 北島瑞男



「至誠一箭」に 思いを寄せて

教練士会 曲山伊之吉

弓道教本(第一巻)の内容は練士のレベルが書いてあると、矢吹藩士が講習会の度にお話された。私が練士の称号を授与された頃の内容の何処まで実行出来ただろうか、基本体にしろ基本の姿勢基本の動作と一つの所作に集中するとか片方が疎かになつたりして、ちぐはぐな動作をしていたことを思い起される。

その頃教練士会に入会し研修を受けるようになり、基礎的な処からご指導を頂き射法の基本を大切にされた稽古になつたが頭で考える程安易なものでなかつた、稽古も審査の問合い・持ち射の射礼・一つの射礼・立ち射礼と段々に高度な技法を学ぶ格になる、益々基本を忠実にそして一緒に行射する他の人との協調が求められる様になつた。

「至誠一箭」の事は、現実城界弓道連盟会長、柴田猛範士の弓道場「存心館」の(あつち)に掲げられて弓道修練の眼目とされている、と拝察致しております。

この「至誠一箭」の文字は中野慶吉範士が昭和39年に第18回オ

リンピック東京大会、武道演武・幕目を披露されるまでの修練過程を猪野嘉久教士の著書「弓道範士 中野慶吉」に紹介されているので一読をお奨め致します。その中で歌舞伎座に観劇に行き、俳優の動き、黒子の動き、息合いと動作、問合い、観客が俳優と一体になる雰囲気学んだという。この大範士にしてこの謙虚で真摯な探究心、誠に至誠の一念を見る思いで感動し、己を厳しく律して緻密で正確な弓道修業の方向をお示し頂いた思いが致します。

「国際弓道18年5月発足へ」と(月刊弓道)誌04年12月号4ページに掲載され、05年3月号32ページに第4回理事会の記事・国際弓道(心)ついに、的主義排除・真正弓道へ、と題して掲載の内容に：国際化で弓道の的中主義に流れてしまふのでは、との懸念には「的中主義に陥つてしまつては、外国ではなくむしろ日本国内ではないだろうか。全弓道は総力を上げて「真正弓道」の発展に邁進したい」と訴えた。この記事になにを感じますか。日本弓道の危機と感じますか、今こそ国際的に範を示す弓道人として、中野範士が教示された「至誠一箭」を追求する道をめざして、茨弓連教練士会を上げたいと願つています。

ご指導ご協力を願つて終わります。

五段会の現状について

五段会会長 大貫富士男

日々弓道の修練にいそしみ弓道を愛している皆様いかがお過ごしでしょうか。今回五段会の紹介という依頼に答えて五段会の現状についてお知らせ致します。

平成17年度を迎えた会員数75名で(会員は五段保有者を主に一部四段保有者または在会中に六段に昇段された方を含んで)運営会の運営の趣旨は、射法・射技の研修を通して、会員各位の上位段位を目指すとともに会員相互の親睦を図る、ことを旨としています。

この目的を遂行するために、年一回の大会と年3回の講習会を主要事業として実施しています。大会は、五段会独自の「中野杯争奪大会」、(五段会)元全日本弓道連盟会長、又元全日本弓道連盟名誉会長、範士全段、中野慶吉先生が若かりし頃茨城県の中野範士士の技量アップを目指して創設された講習会が幾多の先輩に引き継がれて今日に続いているものです。(を実施しています。

講習会は、取手・土浦・東海を主な会場として実施し、練士審査に必要な1次、2次審査要領の要点等を中心と、また射技の研修と、講師をお願ひし、楽しく、和気藹々とし、又時には厳しく、修練の時を過ごしています。

最後に、会員の中から一人でも多くの昇段・昇格者が生まれることを念じて、また会員が各地域における中堅指導者として県弓道連盟会員の底辺の拡大に尽力されることを期待して五段会の紹介を終わりといたします。

「平成十六年度の
女子部の足跡」

女子部会長 天 冨子

前回の平成十六年三月に、第二十六回の弓道いばらきに、女子部とはと題して、女子部の概略、目標、又はP.R.について申し上げましたが、今回は十六年の一年間をふりかえり一筆書くことにします。

四月十日(土)総会及び講習会、参加者七十二名
講師関根村夫範士・矢渡し
綱川久子教士
八月二十九日(日)講習会・参加者七十名

講師張替謙一教士・矢渡し
市毛道子教士
九月二十五日(土)第二十六回女子弓道大会 参加者四十七名・来賓 関根村夫範士・木村喜久雄教士

成績は、団体優勝 下館
第二位 神栖B 第三位
神栖A 第三位 水戸
個人優勝 和田(神栖) 第二位 小武内(神栖) 第三位 村越(大洗)

十月三十日(土)講習会・参加者五十四名
講師木村喜久雄教士・矢渡し
塩津多恵子
十七年二月二十六日(土)新春射会・参加者五十六名

来賓関根村夫範士・木村喜久雄教士
矢渡し萩谷信子 優勝市毛
第二位 越川 第三位 佐野

三月十五日(火)役員会 役員十一名(全員)
総会資料作成(本年度の反省から来年度に向かつての構成を四時間かかって行った。特に本年度は、大変に嬉しい事がありました。それは、昇段・昇格が非常に多かつたことです。

五段合格者 和田昭子(神栖)
久保里美 鹿島平口圭子(神栖)

講習会・参加者七十名

柄)中野紀子(水戸)

宮下友子(ひたちなか)立山

たみ子(文部)福田弓子(土浦)

丹下節子(水戸)

久本宣子(太田)竹弓会

六段合格者 小室セイ子(石岡)

佐野陽子(日立みなみ)青柳

とし子(下館)

練士弓合格者 飯田悦子(五段)

(土浦)

教士弓合格者 荻沼信子(六段)

(ひたちなか)

合格者十四名

これほどの、合格者を出した事は、今までになかった事です。昇段昇格は一重に個人の努力につきるとは思いますが、団体で行う体配などは、講習のたびに、御指導いただいた諸先生方の御指導と、女子部の弓友方への応援によるものかなと思います。部長としては、こんなに嬉しい事はありません。

又新しい年がめぐって来ましたが、皆でスクラム組んで頑張る、羽ばたいてめざしましょう。



県北地区だより

大子支部 堀江 栄

主任講師の高橋範先生の矢渡し東中で茨城に接近してきた台風二二号も鹿島灘に逃じた。

第一射場は中塚祥一郎先生、柴田保先生、第二射場は高橋範先生、久保田清先生の恵みで、あこがれの講師陣に三一歳から八四歳までの七十名の受講生が二班に分かれての研修会。

私は第一射場グループで二日間、みっちり指導を受けることが出来た。

真・善・美を求める弓道で「真」とは手先のテクニックでなく、基本に忠実で、真実を求めること。

「善」とは人の為に働けること、废物を揃えたり相手の方を見て礼が出来ることなど、心が自分のもものなっていてこそ本当の「美」になる。崇高な美は自分の足元から、今を正しく真面目に生きる講和からかつての「善の研究」が脳裏を走った。

弓道の特性を考えると若いときから嗜んでいたならと海やんといろ。最も素朴で基本の条件の目標物の的に向かて「威力ある矢」を成儀正しく、質実剛健、従容典雅にするには、強めの弓で一人稽古の多い私にはこの上ない研修のチャンスだった。

前足に気をとられる歩行、退場の扱が雑な仕舞い。練習中は特に正しいの付けから発を出すこと、背柱と弓は二本の柱と考え、接近させ、体を割り返すこと。視線の乱れ、横目が目立ち、弓懐の大切

なこと、伸び合い不足などなど、いずれも他人事でなくわが身に置きかえられることばかりで反省させられた。

先生方のご指導に「この機を逃さず」と受講生の目の色も変わり、さぞ指導「ず」しく、お疲れになったと思います。

閉講式で高橋先生から星影のワルツがありました。私は弓と矢にしがみつかず、うらみ別射たがそこに楽しさと快感を求め、思い切りのよい別れ(離れ)の出来る弓に努めます。

範士先生方の人間味溢れる温かい御指導を忘れず、只管打射「老いの身を考へず弓道に励みます。ありがとうござりました。

日立地区だより

『ひたち元氣アツアツ賞』優秀賞に輝く日立地区高橋弓道会

日立地区中央支部 増田英一

日立市では、平成十三年度より

数多い市内の各種スポーツの団体・

個人の活動に対し、すべての市民

が健康で明るく生活できる社会の実現を目指し、市民総ぐるみとな

って、健康づくり運動に取り組みための行動指針「ひたち健康づくりプラン21」が策定されました。

今この事業を受けて、私達日立地区高橋弓道会は、活動の現況をまとめて応募した結果、長年わたる実績が認められ、平成十六年度「優秀賞」に選ばれました。

各種スポーツ団体のなかで弓道はまだ会員が少なく一般の関心も薄い現在、表彰式に臨んで私達の活動の概要が多少なりとも市民の皆さんに理解されたのではないかと、受賞の喜びと共に、誠に榮譽なこととあります。

本会日立地区は、北茨城市・高萩市・日立市(十王町が合併)東海村の各地区と常陸太田市の一部も加わり、各地区弓道支部の高橋者同人が集い、会則により会員は男子六十歳以上、女子五十五歳以上若で組織し、昭和六十二年の会員名簿は延べ五十一名になりましたが、これまで十三名の物故会員や加齢による身体の不調等で数名が退会し、現会員数は三十四名に減るなか、年齢別構成は次の通りです。

・五十代 男女とも〇名
・六十代 男子二名 女子一名
・七十代 男子十三名 女子八名

・八十代 男子九名 女子一
・九十代 男子一名 女子一

主な活動は、日立地区内の四弓道場を輪番制に、毎回の矢渡し・射詰・競射を中心に、巻薬・一つ射の各射礼等にも巻薬します。

射初会・納射会には余興も加える等、各地区幹事が企画し、年間五回の弓道大会を開催、現在まで全く休会なく継続し、昨年九月には第七十回記念大会を盛況に祝いました。

今後は、斯道練成に励みつつ、会員相互の健康維持に努めると共に、更に親睦を深めたい、私達高橋弓道会の一層の充実・発展を切望してやみません。

水戸地区だより

地区委員長 介川 謙

水戸地区の紹介をすと、笠間市十三名、ひたちなか市津二十六名、ひたちなか市勝田三十三名、水戸市二十六名、みと葵二十三名、県庁十二名、教育庁二十名、茨城町九名、大洗町三名、友部町十七名、内原町十三名、勝田高専十三名、殿山八名の他に、常北町、桂村、御前山村、七倉村の三市五町三村で編成されている(市町村合併前の編成。

十六年度の県登録の会員は二百七十

名、うち女性会員は八名、男性会員は一百九十名、年齢別構成は次の通りです。

十一名である。

弓道施設としては、水戸市に県営道場と県庁道場があり、昨年度は柴田猛個人弓道連盟会長が、水戸市に立派な個人道場「存心館」を新設されたので、地区の活性化に大きな役割を担うだろう。他にひたちなか市には三つの道場があり、笠間市・左部町にも道場がある。

地区を越えた大会としては「観梅大会」があり、中高生二校の参加者は530名を数え一日間にわたり開催され定着している。ほかに湊支部のかつお釣り大会があり賞品のかつおが人気を呼んでいるが地域限定で実施している。

水戸地区としてのこれからの課題は、県連の「地区委員会規約」に示されている通り、地区としての大会、講習会の開催であり、県部である水戸市に道場がないのは不思議なことであり、市営道場の建設は大きな課題ではないだろうか。



(17年1月10日八郷誌)

石岡地区だより

弓と流しソーメン

石岡支部 稲葉健次郎

石岡地区は石岡、小川、百里、千代田、美野里、八郷の各支部で構成されており、それぞれ特徴ある活動を実施し成果を挙げています。今回はその一部を紹介いたします。石岡は、公営の道場がなく故岡崎範士の時代から個人の道場に依存してきております。

使用時間が無制限であり、暖房もあり深夜まで存分が可能なところや、場所が狭く有難いところなど、初心者弓道教室を開催し、二十四期生まで果立って行きました。卒業生からは既に教士、錬士を輩出しています。今回の教室は十八人中、四人が中学生で、ジュニア対策委員長である柴田範士の推進する中学生への弓道普及への一端となれどと思っております。しかしながら中学生から一般の高齢者まで幅のある層の参加者を一度に指導するのはかなり大変なことで、今後実施方法の検討や、教室後の定着化が必要であると感じています。

また、酔心須田道場で、五段会、弓游会などにご利用いただき、

そうそうたる先生方の射を学ぶことができ恵まれていてと感じております。遠のきたいくつかの楽しいイベント射会の一つに「流しソーメン」があります。八月のお盆明けの日曜日午前から五十分射会を行い、終了後道場に桶を渡して水流にのせませす(写真)。汗を流した後に味わうソーメンと飲み物の味は格別です。また、県弓道競技部の事務局でもあり、大会の前には弓よりもパソコンによる名簿の準備の時間が長くなります。

小川支部は設立されて二年の若い支部ですが、その若さの象徴として一月十日の全国連の大会に選手を派遣しました。石岡は会員の高齢化がかなり進んでおり、石岡市親善武道大会では石岡第一、第二、商業高校と一般が共に競技を行います。これが、若者が上位を占めています。これから石岡商業卒業生を中心として千代田のような力のある若い人と熟練者を交えた支部造りが重要かと思えます。

八郷支部では早い時期に町営の弓道場が建設され八郷大会として各地から参加していただき射会を楽しんでいただきました。今は、C級指導者講習会にも参加し、充実させていっているところで。

美野里支部では順調に進んで立美野里町統合体育館建設(七人立規模)事業が市町村合併の影響で中断していますが、合併後の動きが注目されます。



鹿行地区だより

近隣融和の心で

さらなる研鑽を

潮来市支部 高品 正美

行方地区弓道連盟は、麻生町、玉造町、北浦町、潮来市の三町の弓友五十余名で構成されています。

一年を通して、七月の地区体育大会を中心に、春季・冬季大会を行っています。

この他には、六月に潮来市の「あやめ祭り弓道大会」や、十一月には麻生町で「麻生町弓道大会」が開かれていました。日頃の練習でも、麻生町の弓道場を中心に、各町村の弓友が集まり弓の技術の向上と交友を育んでいます。

写真は、昨年の十二月十二日に開催された冬季大会のもので、当日は三十五名の弓友が集い、射撃、射込、団体戦と計十八射を行いました。いつも賞品は地元の特産物などを交えたユニークなものも多く、皆真剣な中にも楽しく競技を終える



ことが出来ました。
大会終了後、会場を替えて親睦会が行われ、それぞれ当日の成績や、技術面の話で盛り上がり、中には、最初からの中よりも焼中(附)と言う面々もいたとか。賑やかな一時を過ごしました。
今後とも、近隣融和の精神で、弓道の研鑽はもとより、地域の親睦を更に深めて行きたいと思っております。



土浦地区だより

弓の「狙い」の変遷

つくば支部長 森 俊男

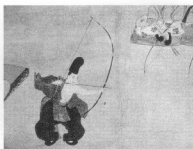
弓道での「狙い」はどの様な姿遷があったのか、ひよんなきつた

けから調べることとなった。古くから絵巻物というものが存在する。絵巻の行射場面から当時の射術を類推できる。写真(絵)は十二世紀制作の「年中行事絵巻」の行射場面である。この射手は、矢尺も短く、勝手の巻の納まる位置も毎回一定の所(下顎)にしていると思われる。この絵から、当時の狙い方は矢を通して狙うという方法と推測で



きる。それ以前の「銅鐸」の絵も同様であり日本での弓矢使用開始から十二世紀頃までは矢を通して狙いを付けていたと考えられる。次に下に示す絵は「二七八年作製の『北野天神絵巻』」の行射の様子である。

この時代では矢尺は長くなり、矢筈は射手の目の位置よりも右後



方に引かれ、射手が矢を通して狙いをつけるのは不可能である。そこで、狙いはどうであったのか興味を惹かれる。その答えは、十四世紀後半に今川了俊の記述した「了俊大草紙」にあった。その中に、「拳を的にし當て。矢崎と的に見合て」と記されている。つまり、矢先と的との関係で狙いがつけられていた。十六世紀に出現した日置弾正の伝を伝える日置流吉田流の「弓目録」ではどうであろうか。第十七条「筋筋見様の事」には、同様に「根先」にて狙うことと記されている。吉田流から分派した出雲派、雪荷派、道雪派等も同じように根先を狙い方が記されている。では、いつから現在のようになつたのであろうか。

日置流印西派の「弓目録六ヶ条」の伝書には、第五十六条「矢筋見

様の事」「弓割に非ずば無益。後略」と記されている。弓の狙いとは根先ではなく、弓幹の左の狙いとの関係から定めなければならぬと記されている。つまり、現在の我々が行っている狙い方に変化してきたことになる。どうして「根先」から「弓割」に変化したのか興味津々であるが、理由は不明である。ちなみに世界の弓の中で日本弓だけが、「弓割」での狙い方であると今のところ考えられる。

県西地区だより

三和支部 塚田哲也

県西地区は、下館市、三和町、日立化成、古河市、境町の五支部、七十三名で構成されています。この数年は、県内審査での昇段者が増加し、中央審査でも着実に合格者を出すなど、充実した稽古を積んでいます。

新年に開催している、「県西弓道大会」は県西地区支部連合会として県西の支部全体で運営し、今年で二十四回目を迎えることができました。毎年、県内各地域から高校生、一般を含め、二百名を超える参加をいただき、盛大な射会になっています。昭和六十四年平成元年の大会前日には昭和天皇が崩御され、競技会を急遽追悼射

県南地区だより

支部自慢?

取手支部 鳥居 士郎

孫自慢ならぬ支部自慢をいくつか……

其の壱、年の差も何のその。現在稽古に参加している部員の最少は小六のソウちゃん十一歳。最高齢のIさんは七十歳以上の年齢差がある、月に一度、全員年を忘れ、老若男女混じって倉田先生寄贈のカップ(先生は現在九十五歳、弓は引かれていないがお元氣)を目指して熱戦を繰り広げる。

この他に、月見射会、羊学会など季節季節に趣向を凝らした会費があり、和氣満々とした雰囲気稽古を積んでいる。また、県の大合等においてもこのところ優勝、入賞者が連続して出ており、あとは是非とも天皇杯選手が出ることを願っているが、これも夢では無い(と信じている)。其の弐、冬でも寒くない道場。

これは天才的(?)野外活動家でもある増田五段の考案、手作りになる防風・防寒シートのお蔭である。この透明なビニールシート製の着脱容易な装置により、冬でも快適に(やはり少しは寒いのです)「稽古」が楽しめる。

其の参・美麗なホームページ。取手支部のホームページは平成14年、関口四段の尽力によりスタートを。写真もふんだんに掲載され、会員にはとても楽しいものとなっているが、中でも役立つのは丸山六段による「弓道メモ」である。これは講習会の伝達事項や、気が付かれた事をメモ風に随時会員に配布してくれたプリントを取り込んだものである。道場内におけるマナーや体配から技術的なことまで、内容は多岐にわたっている。現在部員のみ閲覧可能、残念。

このホームページへのアクセス数は、二月一日現在四千四百を越えていて異をわずかにりど！県連のホームページ「支部一覽」より入れます。皆様よりのアクセスもお待ちしております。

指導部だより

指導部長 庄司 幸夫

会員の皆様には、お元気で日々稽古にご精進のこととお慶び申し上げます。

平成十六年度指導講習会については、年度始めに運営目標「各段位に応じた体配・射技のレベルアップを図り、県内外の大会・審査に通用する弓人を養成する。」を掲げ運営して参りました。お蔭様で、年度計画を滞りなく終了することが出来ました。ご指導にあたっていただいた講師の先生方をはじめ受講者各位のご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

また今年度も、昨年に引き続き上位者の昇段・昇格者(六段八名、錬士五名、教士七名、計二十名)が誕生しました。更に団体での活躍は素晴らしく、成年男子の近防優勝、成年女子の遠防優勝、総合六位入賞等、実りある一年でした。

さて、平成十七年度の講習会は、運営目標を継続し、概略以下の内容で進めて参ります。大きな変更点は、武段以下の講習会は各支部の先生方の自主的な指導にお任せすることとし、和服着用を望みたいと対象として講習会で望みたいと考えております。但し、各支部の要請により地区単位(年一回)講師派遣の形で対応して行きますので、事前に申請方(二ヶ月前)お願ひいたします。

各講習会の区分は

参段・四段の部

参段は県内審査、四段は県外を含めた連合審査に向けての講習会

五段の部

取得に向けての射礼、面接の予備知識等の講習会

称号者の部

中央・審査等に向けての射礼

介添え等の講習会

その他に支部指導者講習会(伝達)を予定しております。

尚、詳細日程・講習内容・申し込み等については、各支部長宛に別途通知いたします。

競技部だより

競技部長 須田 勝

会員の皆様には益々御健勝で稽古に励まれて居る事とお慶び申し上げます。

さて今年も柴田猛会長先生の御指導を仰ぎ、森・大貫両先生に副部長を再度お願いしご相談申し上げますが、微力な私でございますのでが精一杯頑張る所存でございますよろしくお願い致します。

競技部では施設部、強化部のご協力を得、昨年実施致しましたが、今年も県の大大会に遠防の練習を行えるよう準備し、皆さんの

ご利用を熱望して居ります。遠防

は日常なかなか練習が出来ませんので、にがて意識をもつてしまふ事があろうかと思われまふ。遠防矢でなくとも、近防矢でも結構だ

今年も県の大大会は十一回計画

して居ります。日頃の稽古の結果の発表の場として大会を盛り上げて

今年も県の大会は十一回計画

して居ります。日頃の稽古の結果の発表の場として大会を盛り上げて

今年も県の大会は十一回計画

して居ります。日頃の稽古の結果の発表の場として大会を盛り上げて

今年も県の大会は十一回計画して居ります。日頃の稽古の結果の発表の場として大会を盛り上げて

審査部だより

審査部長 明間 勲

継続は力なり
審査部を担当させて頂き、三年間無事にすこすことが出来ました

さて、中体連、高体連の指導者の熱心なご指導のおかげで十六年度も多数の受審者がありました。十七年度も昨年以上に遠防の練習を希望して居りますのでご指導の各先

生直しくお願いいたします。
高校生、大学生、学生時代で学んだ弓道を社会人に入っても、友人と共に弓道を思い出し道場に足を向けてもらいたい、指導なされたい、指導も、待つていただきたいこととおもいます。勤務先が遠い、住まいの近くに道場がない等々いろいろな問題があると思いますが、是非学生時代に学んだ弓道精神を社会人になっても継続し、一般弓道人底辺の拡大に期待したい。

高段者を拝見して各先生の方々には学生時代で勉強されたことを継続、たゆまぬ努力、稽古され、今では全日本弓道連盟の指導者となられて居ります。
学生の諸君、是非社会人になつても弓道続けて頂きたい。

平成16年度 受審一覽

	無指定	初段	武段	参段	四段	五段	合計
受審	1196	348	203	123	116	1986	
合格	1級 527 2級 83	550	274	59	33	16	1542
合格率		97.0	78.7	29.1	26.8	13.8	77.6

広報部だより

茨城県弓道連盟公式ホームページ開設について

ページ開設について

副部長 川又正昭

平成十六年九月に表記ホームページを開設いたしました。広報部員の中でインターネットやホームページに興味のある者を中心として試行錯誤を繰り返しながら何とか開設にこぎつけました。「百聞は一見にしかず」とお見えていただければわかりますが、まだ閲覧されていない方のために公開されている主な内容について紹介したいと思います。

まずトップページよりメインページに入りますと「活人箭」の写真があります。これは平櫛田中作の木彫像で会の姿を表しておりますが弓矢を持つことなく会の力強さを表現し、お一人一見の価値があります。

画面の左側には幾つかのサブページにリンクするようになっており、会長挨拶、行事一覧、競技規則、審査、講習会・研修会、諸規則、役員紹介、支部一覧、道場紹介、茨城県弓道のあゆみなど盛り沢山の内容となっております。

それぞれのサブページに入ることによりその年の県連の行事予定や競技大会の結果、審査会での合格者氏名などすぐわかるようになっております。県連主催の競技大会だけでなく地方の大会の結果も閲覧できます。

県内にある道場を一覧することで自分の地域で利用できる道場を見つけるところなども可能です。

インターネットが普及してきてはいえ会員全員が閲覧しているとは限りませんが開設以来半年で六〇〇件以上の方が当ホームページを訪れており、閲覧は北海道、九州など全国からの遠客も在るようです。

ホームページを見て「弓道に興味を持ちぜひ弓道を始めたいがどうしたらよいか」など問合せのメールも多数寄せられており、ネットによる広報の意義はこれから益々大切になってくるものと考えられます。

魅力あるホームページを維持していくには常に最新のデータを掲載し、こまめに管理運営をする必要があります。このためにも迅速正確なデータのやり取りが行われるよう各専門部をはじめ各会員のご協力なしでは成り立ちません。多くの人たちの意見、情報をお寄せいただき、皆様に喜んでいただけるホームページを維持していきたいと思えます。

今後、皆様の益々のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なおホームページのアドレスは

<http://iakyukenho.jp/indexeek.co.jp/>です。各検索サイトから「茨城県弓道連盟」でも検索され当ホームページに入ることが出来ます。

ぜひともご高覧下さりますようよろしくお願いいたします。

平櫛田中作 活人箭 (むらくしてんちゆうさく かつじんせん)

平櫛田中(1872-1979)は、107歳で没するまで終生、圓倉天心を師と仰いだ。五浦美術文化研究所には平櫛が五浦にくるたびに、天心の墓前に座り込んでの礼拝に用いた香炉が残されている。その崇拝の徹底ぶりには横山大観と並んで特別のものであった。

美術学校時代から薫陶を受けた大観と異なり、平櫛は、高村光雲から推薦を受けた日本彫刻会の結成に際して天心と出会ったときすでに35歳だった。

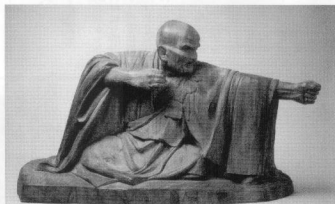
平櫛は生涯で二人の人間に出会わなければ彫刻家としての自分にはなかつたという。一人は天心、もう一人は西山禾山という禅の高僧である。平櫛は天心と出会う前に、禾山の提唱を聞いて禅の精神世界の深さに感銘を受けていた。「売れない彫刻を作れ」といつて禅の公案を木彫にするヒントを与え、さらに近代彫刻の方向へ平櫛の背中を押したのが、天心だった。「活人箭」は、引き締められた弓矢を前にして、少しもひるまず「一人を動かす矢か」と逆に問いを返すという禅機を題材としている。天心は最初、実際に弓矢を手にして見る像を見て、小道具無しで力を表現しているロタンを参照してアヴアイスした。平櫛はそれを機

に近代彫刻の表現法を実感したのでらう。後に平櫛は初心にかえるためとして、本作品を含め、東京芸術大学所属および平櫛田中記念館所蔵の三体を制作している本作品の地山後部には「始受天心先生批評予出世也」と刻まれている。

茨城県教育庁教授・

五浦美術文化研究所員

小泉晋弥(博物館学・近現代美術史)



平成16年度県外審査関係(錬士以上合格者)

【教士】

石川 崇之	取手市	京都	2004.05.04
山村 晋	石岡市	仙台	2004.07.02
庄司 幸夫	下館市	東京	2004.11.06
根本 信哉	日製日立	東京	2004.12.19
萩沼 信子	殿山弓道	東京	2004.12.25
小野崎紀男	ひたちなか市	東京	2005.02.25
北島 瑞穂	下館市	東京	2005.02.25

【錬士】

山崎 和雄	那珂町	東京	2004.05.27
檜森 宏次	日立化成	東京	2004.09.11
廣原 洋介	霞ヶ浦町	東京	2004.09.11
飯田 悦子	土浦市	東京	2004.09.11
藤田 君子	神栖町	金沢	2004.09.25

【六段】

福永 弘	藤代市	岐阜	2004.05.30
小堀 富男	鹿嶋市	仙台	2004.07.03
川又 正昭	茨大教職員	東京	2004.09.12
小室七イ子	石岡市	東京	2004.09.12
青柳とし子	日立化成	東京	2004.11.05
堀江 栄	大子町	東京	2004.11.05
佐野 陽子	日立みなみ	東京	2004.11.05
小島 敏和	水戸市	高松	2005.01.23

(左から 氏名 支部名 受審場所 合格日)

表彰

茨城県体育協会会長

教育長賞(2/11)

優秀指導者 小泉民夫

優秀選手 萩野谷綾子

功労賞 田原トシ 木村喜久雄

団体賞 成年男子選手・監督

東海南中学校

石岡商業高校

神栖町弓道連盟

団体成年女子選手

茨城県県知事賞

講習会・研修会

関東地区女子講習会

(前橋6/18、20)

海老根、高橋、広水、柴原、小武内

関東北部地区講習会(宇都宮6/19、20)

川瀬、宮崎、塚田、中井川、助川

中央研修会 (東京10/1、3)

久保田、市毛、明間

指導力・競技力向上指導者講習会

(中央2/4、6)

張替、木村、海老根

地連幹部指導者講習会

(上尾3/5、6)

天、張替、赤津

講師・審査員研修会(中央3/8、10)

柴田、関根、久保田

「弓道誌」へ 奮って投稿を

皆様のご協力のお陰をもちまして弓道誌への投稿も順調に進んでおります。弓道誌の作成には出来るだけ多くの方々が参画していただきたいと思っております。各種大会結果だけでなく、何か特別な話題等がありましたら、お知らせ下さい。また読者欄には次の投稿依頼のテーマが掲載されておりますので、その件についても投稿下さいませ。全弓連へ直接でも、私の方へ送っていただいても結構です。また各地区の広報部員にお渡ししたいでも構いません。茨城発信の記事ができるだけ沢山掲載できますよう今年だけよろしく願っています。

茨城県編集連絡員

星 喜進

御冥福を祈ります

(教七) 大村 寿雄殿 H16年3月9日 89才

(五段) 荒木 修殿 H16年4月20日 87才

(範九) 山口 省吾殿 H16年8月22日 97才

(錬六) 小泉久雄殿 H16年12月22日 89才

(参段) 富田 榮治殿 H16年12月23日 94才

広報部員

広報部長 宮崎 康美

副部長 小野崎紀男

川又 正昭

高橋 輝子

星 喜進

鳥居 久泰

立川 士郎

増田 英一

稲葉健次郎

橋本 アキ

岡田耕一郎

萩野谷綾子

広水千加代

中井川美枝子

安部 容子

半澤 佳朗

山口 裕利

佐川 裕行

岡見 伸行

須藤 岳志

新山 晃一